

所沢ってどんなところ？

所沢の場所は？

武蔵野台地のほぼ中央、埼玉県の南西部に位置しています。北東部は三芳町、北部は川越市・狭山市、北西部は入間市、南部は柳瀬川をはさんで東京都と接しています。

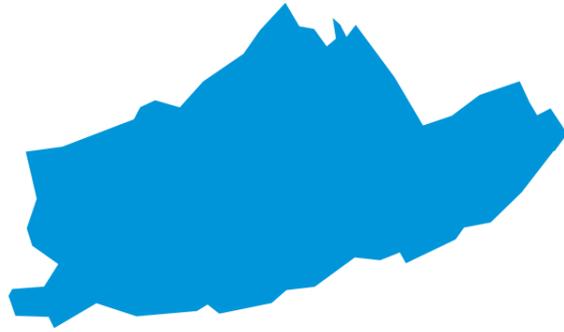
まちの特色は？

東京都心部から30km圏内にありながら、狭山丘陵や武蔵野の雑木林に代表される豊かなみどりや狭山湖、また丘陵付近から源を発する柳瀬川、東川などの川や湧水に恵まれた豊かな自然を有しています。

それらと共存する形で、歴史ある文化を感じられる多数の史跡が残るとともに、発達した広域交通網による利便性も確保されており、自然環境と都市機能、さらに文化が調和したまちです。

いつから人が住んでいるの？

市内の遺跡の発掘調査によると、約3万年前から石器を用いた人の痕跡が残っており、旧石器時代には所沢に人が住んでいたと考えられています。



歴史的な特性は？

古代には東国と武蔵国府を結ぶ東山道武蔵路、中世には東国の武士らが鎌倉との往復のために使用した鎌倉街道が幹線道路として市内を縦断していました。近世になると市内を横断して江戸へ向かう道や、新河岸川の舟運を利用するため河岸場に向かう道が発達して、交通の要衝として栄えるようになりました。こうして所沢は多くの人や物資が行きかう経済的な中心地となり繁栄してきました。

いつ市になったの？

1950（昭和25）年に埼玉県で8番目に市制が施行されました。市となった当時は42,000人余りのまちでした。

所沢の大きさは？

面積 … 72.11km²
 周囲 … 57.0km
 東西 … 15.1km
 南北 … 8.9km

市になる前の所沢ってどんなところ？

大昔のころざわ（古代）

市域では、約3万年前から石器を用いた人の痕跡が確認されています。なかでも、旧石器時代の遺跡である「砂川遺跡」は、出土遺物から石器の製作工程を復元したことで日本の旧石器時代研究に重要な発見をもたらしました。このほか、縄文時代中期の集落跡が発見された市指定史跡「膳棚遺跡」などからも、この地域に太古から人々が生活していたことがわかります。奈良・平安時代には、都と地方を結ぶ幹線道路が整備される中で、「東山道武蔵路」が市内を通っていました。



中世のころざわ（鎌倉・室町時代）

鎌倉時代には、東国の武士らが鎌倉との往復のために使用した鎌倉街道が幹線道路として市内を縦断していました。倒幕の兵を挙げた新田義貞もこの鎌倉街道を通して南下して、小手指ヶ原で幕府軍と激しい合戦を繰り広げ、鎌倉幕府を滅亡に追い込みました。室町時代から戦国時代にかけて市域を支配していた大石氏が築いたとされる「滝の城」は、やがて関東に勢力を伸ばした北条氏の持ち城となり、河越（川越）や岩付（岩槻）などへの伝達拠点として重要な役割を担っていましたが、1590年、豊臣秀吉の軍勢による攻撃を受けて落城し、廃城となりました。



近世のころざわ（江戸時代）

江戸時代になると、市域の多くは旗本（江戸幕府を支えた中下級家臣）によって治められるようになり、市内を横断して江戸へ向かう道や、新河岸川の舟運を利用するため河岸場に向かう道が発達して、所沢は交通の要衝、物流の拠点として栄えました。また、三富新田や武蔵野新田の開発が進められ、これまで武蔵野の原野であった地域に新しい村ができていきました。江戸時代後半から農家の副業として盛んに織られた緋などの織物は、所沢の三八の市で主に取引されたことから「所沢織物」と呼ばれ、幕末から明治にかけて緋の生産量が伸びると「所沢緋（飛白）」のブランドで全国に広まりました。



▲ 所沢織物（柄は左から、ツツミ、繭に飛行機、カメノコ）

近代のころざわ（明治・大正から市制施行前まで）

1881（明治14）年に、所沢村は所沢町と改称しました。それに前後して郵便局や警察署ができるなど、近代化が進みました。また、1888（明治21）年に公布された市制町村制を受けて、市域では江戸時代以来の旧村の合併が進み、現在の地区のもととなる松井、小手指、富岡、柳瀬、三ヶ島、吾妻、山口の各村に再編されました。

1895（明治28）年に、川越鉄道（現在の西武新宿線）が開通し、所沢駅が開設されました。1915（大正4）年には、武蔵野鉄道（現在の西武池袋線）が開通して所沢駅に接続したほか、市域に2つの駅が新設されました。鉄道の開通は、その後の町の発展に大きな役割を果たしました。

さらに、1911（明治44）年には我が国最初の飛行場が開設されたことから、所沢市は「航空発祥の地」と呼ばれています。



▲ 所沢市域の旧村（1875・明治8年頃）



▲ 所沢市街（1916・大正5年頃）喜多川方暢氏所蔵

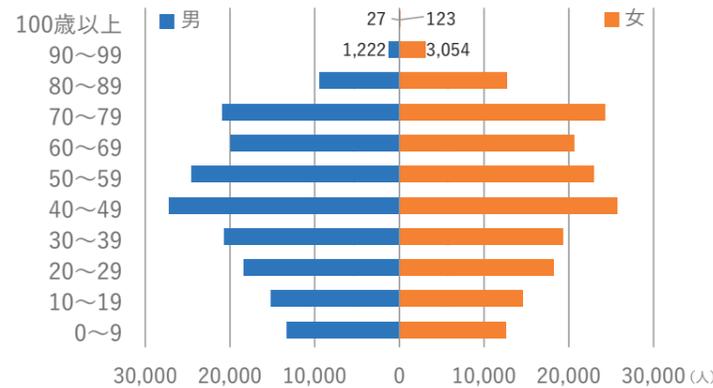


▲ 所沢飛行場（昭和13～20年頃）喜多川方暢氏所蔵

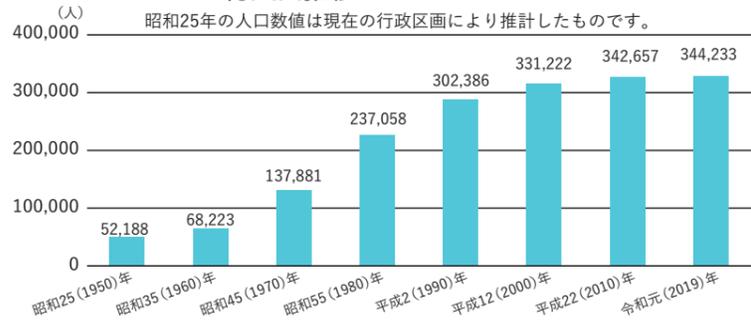
所沢市の“ひと”

総人口 **344,277人**
 （男性170,509人、女性173,768人）
 （令和2年7月末日現在）
 世帯数 **163,129世帯**
1世帯当たりの人数 2.1人
 （令和2年7月末日現在）
 平均年齢 **46.9歳**
 （令和2年6月末日現在）

年齢別人口ピラミッド（令和2年6月末）



総人口推移（各年12月末日現在）



参考：令和元年度版所沢市統計書、年齢別人口調査、年次別世帯数人口調査



市ができてからの70年間、人口は増加を続けているよ。
 人口ピラミッドは市ができた当時は若年層が多く富士山型だったけど、時代を追うごとに形が変わって、今ではつぼ型になってるんだ。